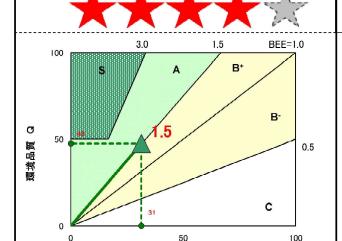
【八SBEE®熊本《新築》【性能表示】

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	熊本銀行 健軍ビル	階数	地上13階、地下0階	CA STORY
建設地	熊本市東区新生1丁目118,81,81-2	構造	2種類以上	-
用途地域等	2用途以上	平均居住人員	390 人	
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	事務所,集合住宅,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年6月21日	
敷地面積	2,371 m ²	作成者	梓設計 九州支社	8
建築面積	845 m²	確認日	2024年6月21日	
延床面積	4,756 m [*]	確認者	梓設計 九州支社	





BEE = 1.5

■BEE(環境効率) =

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定值			
		計画	BEE値	Q値		
S	****	素晴らしい	3.0以上	50以上		
Α	****	大変良い	1.5以上3.0未満	_		
B⁺	***	良い	1.0以上1.5未満	_		
B-	**	やや劣る	0.5以上1.0未満	_		
С	*	劣る	0.5未満	_		

■ライフリイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	****
30%超60%以下	***
60%超80%以下	***
80%超100%以下	**
100%超	*



環境負荷 L

排出率

22%

3	熊本県重点評価結界	7
J	熊本宗里尽評価箱:	ī

■ 重点事項総合評価

評価点









87

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

104.6

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

【重点事項4】循環型社会の実現

評価点

66.2

75.0

84.0

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	66666
80点以上100点未満	& & & &
60点以上80点未満	6 6 6
40点以上60点未満	& &
40点未満	&

※評価点は、100点以上が推奨です。

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-2 外観 1-1 建物概要 建物名称 熊本銀行 健軍ビル 陛数 地上13階、地下0階 建設地 熊本市東区新生1丁目118,81,81-構造 2種類以上 用途地域等 2用涂以上 平均居住人員 390 人 年間使用時間 省エネ:地域区分 7地域 8,760 時間/年(想定値 建物用途 事務所,集合住宅,工場 評価の段階 実施設計段階評価 竣工時期 2026年2月 評価の実施日 2024年6月21日 敷地面積 2.371 m² 作成者 梓設計 九州支社 建築面積 確認日 2024年6月21日 845 m² 延床面積 4,756 m² 確認者 梓設計 九州支社





■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム)

- ■G: Quality (建築物の環境品質)、L' Load (建築物の環境負荷、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO。」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
- ■評価対象のフィフサイグルGOZ排出重は、GZ、LRI、LRZ中の建業物の寿命、省エイルキー、省資源などの項目の評 ■LCCO2の算定条件等については、「LCCO2算定条件シート」を参照されたい

評価点が3超の項目

水色セル欄に数値やコメントを記入

⇒Q1~Q3シートやLR1~LR3シートにおける採点の根拠に倣って、要旨を記入してください

スコアシ	<u> </u>	実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		重み	転床上 重み		全体	
		A T	シネップに同じが、以入口(マン)が、3天口にノくり内	評価点	係数	評価点	係数		
Q 建築 Q1 室内		現品貨			0.40		-	2.9 3.2	
1 音環				3.8	0.15	3.4	1.00	3.5	
		音レベル		3.0	0.47	3.0	0.50		
1.2	2 遮音	明中如本本件外	 建物全体・共有部及び住戸開口部遮音性能:T-2	4.7	0.47	3.8	0.50		
		開口部遮音性能 界壁遮音性能	建物主体・大行命及び圧圧 新口の感音 正能・1-2 	5.0 3.0	0.87 0.13	5.0 3.0	0.30 0.30		
		界床遮音性能(軽量衝擊源)	フローリング遮音性能:LL-45	3.0	-	4.0	0.20		
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20		
	3 吸音			3.0	0.07	3.0	-		
2 温熱	塚現 室温制	140		2.4	0.35 0.50	3.3 3.7	1.00 0.50	3.0	
2.1		室温		3.0	0.54	3.0	0.63		
		外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1 断熱等性能等級」等級4を超える性能	3.0	0.33	5.0	0.38		
		ゾーン別制御性		1.0	0.12	- -	-		
	2 湿度制			1.0	0.20	3.0	0.20		
3 光・視	3 空調方 日本特	式		3.0 2.6	0.30 0.25	3.0 2.9	0.30 1.00	2.8	
	8.琛-塊 ▮ 昼光利	I用		1.8	0.25	3.5	0.30	2.0	
0.1		昼光率	住宅部分昼光率: 1.7%	1.0	0.60	4.0	0.50		
	2	方位別開口		-	-	3.0	0.30		
		昼光利用設備 1.45		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2	2 グレア 1	対策 昼光制御	 庇の設置及び事務所部ブラインド、住居部カーテンレール設置	3.0 3.0	0.30 1.00	4.0 4.0	0.30 1.00		
3.3		全元 削脚	此の故意及び事物が能力プログト、任治能が「プラレーが故意	3.0 3.0	0.15	3.0	0.15		
	4 照明制]御		3.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気				3.8	0.25	3.5	1.00	3.6	
4.1	▲ 発生源			4.0	0.57	4.0	0.63		
4.0		化学汚染物質	内装材はF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2	2 換気 1	換気量	30㎡/h人を確保	3.4 4.0	0.37 0.44	2.6 4.0	0.38 0.33		
		自然換気性能	SOTTI TO CE NEW	3.0	0.11	1.0	0.33		
		取り入れ外気への配慮		3.0	0.44	3.0	0.33		
4.3	運用管			5.0	0.07	-	-		
		CO ₂ の監視		- I	-	-	-		
Q2 サー		喫煙の制御	建物内の喫煙禁止	5.0	1.00 0.30	-	-	2.8	
1 機能		16		3,6	0.40	1,8	1,00	2,4	
		[■使いやすさ		3.0	0.40	1.0	0.60		
		広さ・収納性	一人当たりの執務スペース10㎡以上	4.0	0.11	3.0	-		
		高度情報通信設備対応		2.0	0.11	1.0	1.00		
10		バリアフリー計画		3.0	0.78		- 0.40		
1.2		:・快適性 広さ感・景観		3.1 3.0	0.30 0.11	3.0 3.0	0.40 0.50		
		リフレッシュスペース	休憩スペースが執務スペースの約11%	4.0	0.11	-	-		
		内装計画		3.0	0.78	3.0	0.50		
1.3	4持管		소요! + Bill 42 7.1-05 다 하기	5.0	0.30	-	-		
		維持管理に配慮した設計	充実した取り組みに9項目該当 充実した取り組みに8項目該当	5.0 5.0	0.50 0.50	-	-		
2 耐用	<u> 2</u> 性•信頼	維持管理用機能の確保 性	/5人の/24人/4世の日との名目 欧コ	2.7	0.50	-	-	2.7	
		 免震•制震•制振		3.0	0.50	-	-		
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
		免震•制震•制振性能		3.0	0.20		-		
2.2		部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-		
		躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0 2.0	0.20 0.20	-			
		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
		空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
	-	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
		主要設備機器の更新必要間隔 -		3.0	0.20	-	-		
2.4	4 信頼性			2.0 1.0	0.20 0.20	-	-		
		全調		2.0	0.20		_		
		電気設備		3.0	0.20	-	-		
	4	機械▪配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
	5	通信•情報設備		1.0	0.20		-		

3.1 空間のかとり		-1 -1- 10	Leir	ld.			0.00		1.00	
1 対応のからと 本名格所深は知知上、作品開業14以上 5.0 0.00 5.0 0.	3 🛪					3.1	0.30	3.6	1.00	3.4
型		3.1			事物 元 如 唯 克 4 0 4 10 1 L (
3.2 帝軍のかと対 3.2 帝軍のかと対 3.2 帝軍のかと対 3.2 帝軍のかと対 1 皇廷政府の東部性 3.0 0.00										
33 世内の更称性	_				事務所部壁長さ比率:0.21				0.40	
1						3.0	0.10	3.0	0.50	
2 取得水質の更新性 3.0 0.00 1.0		3.3	設備σ)更新性		3.0	0.80	-	-	
3 本名配品の変称性			1	空調配管の更新性		3.0	0.20	_	-	
3 本名配品の変称性			2	給排水管の更新性		3.0	0.20	_	_	
4 歯配性的の手軽性 3.0 0.10 - 1										
5 日本時間の単純性 3.0 0.20 - 2.0 -									-	
1									-	
1									-	
生物環境の発金を創出 14						3.0	0.20	1 -1 1	-	
2 まかなか-養味への配産 3.0 0.40 - 3.5 3.1 地域性への配産 (外部性の向上)	Q3 室	室外球	環境(県	收地内)			0.30	-	-	2.5
3.5 色性・アメータへの配像	1 4	上物 環	環境の保	早全と創出		1.0	0.30		-	1.0
3.5 色性・アメータへの配像	2 #	きちな	み・量	関への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3.1 地域性への起席、現在性の向上 24 0 0.50 -						3.5	0.30		_	3.5
3.2 参加内温路温度の向上 1 またりにままる情では、住 日 またりにままる情では、住 日 またりにある。 3.7	٦				評価ポイント・4					- 0.0
Pacific	_				HT				-	
1						3.0	0.50	1-1-1	-	0 7
1 競外技の最負債利制				現現何低減性		ļ .	-		-	
2 自然エネルギー利用 3 及産システムの高効率化 (DEC[[DEIm] : 0.47 5.0 0.50 3 及産システムの高効率化 4.1 モニラリング 4.2 運用管理体制 2.0 0.50 4.1 モニラリング 4.2 運用管理体制 3.0 0.50 - 1 4.1 モニラリング 4.2 運用管理体制 3.0 0.50 - 2.0 0.50 - 3.0 0.50 - 3.0 0.50 - 4.1 世界・アナール 4.1 日本・アナール 4.1 日本・ア	LR1 I	ロネル	レギー				0.40	-	-	4.3
3 数率が平下の高端率化 (BEIJREIm] = 0.47	1 列	皇物タ	ト皮の熱	热負荷抑制	十分な断熱計画	5.0	0.19	- <u> </u>	-	5.0
3 数率が平下の高端率化 (BEIJREIm] = 0.47	2 ⊨	ョ然エ	Cネルキ	一利用		3.0	0.10	-	-	3.0
物事的選用					[BEI][BEIm] = 0.47	5.0	0.50		-	5.0
集合住宅以外の評価 2.5 0.33 - 4.1 モニタリッグ 3.0 0.50 - 4.1 モニタリッグ 3.0 0.67 - 4.1 モニタリッグ 3.0 0.50 - 4.2 運用管理体制 3.0 0.50 - 1.1 節水 - 0.30 - 3.4 1.2 南木利用・運輸水等の利用 3.0 0.70 - 3.4 1.2 南木利用・運輸水等の利用 3.0 0.70 - 3.4 2. 育を全性養腫の使用量削減 3.5 0.60 - 3.5 2.1 村民伊田舎の開議 3.0 0.70 - 2.2 既存施業を維持をの機械 3.0 0.0 - 3.0 2.2 既存施業を持続に対しまりよりイクルオの使用 3.0 0.20 -						-			_	
1 王ニタリング	7 A			字以外の評価						2.0
42									-	
#会信生の評価 4.1 モニタリング 4.2 国用管理体制 3.0 0.50 3.0 0.50 1.1 水質展穫 1 大質展穫 3.0 0.50 1.1 が表現機種 3.0 0.50 1.1 か大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大									-	
4: モニタリング 42 運用管理体制 3.0 0.50 - 1 1.							l .	-	-	
A2 運用管理体制						3.0	0.67	-	-	
1.1 前水用・競排水等の利用			4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
1.1 前水用・競排水等の利用			4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
1、水質研験機 1.1 節水 2.	I R2 誉	4酒。				_	0.30	_	-	3.4
1.1 節水 1.2 雨水利用・避焼水等の利用				,,,		3.4				
1.2 雨水利用・選接水等の利用	'┌				 洗浄水量6 /回(擬音装置有) IIBキッチン水栓:筋温タイプ					014
1 雨水米用システム導入の有無 3.0 0.70 3.0 0.30 3.5 2 非再生性資源の使用量削減 3.6 0.60 - 3.5 2.1 材料使用量の削減 3.0 0.20 3.5 2.2 既存建築躯体等の健時使用 - 3.0 0.20 3.0 0.2	<u> </u>				が、一方の主のC/四(版日表色日/00円 ノノンが住・町/物グリン				-	
2 再年生産業の使用量料減 3.0 0.30 - 3.5 0.60 - 3.5 0		1.2					1		-	
2 非再生性資源の使用量制減 3.5 0.60 - 3.5 2.1 材料使用型の削減 3.0 0.10 3.6 2.2 既存建榮矩体等の総統使用 - 3.0 0.20 3.6 2.3 驱体材料におけるリサイクル材の使用 - 3.0 0.20 3.6 2.5 特殊可能企業体から産出された木材 2.0 0.10 2.0 0.10 2.0 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 5 5 5 0.20 3.3 3 万築物質含有材料の使用回避 3.0 0.30 3.3 3.1 有害物質含含素ない材料の使用 3.0 0.30 3.3 3.2 フロン・ハロンの回避 3.5 0.70								-	-	
2.1 材料使用量の削減 3.0 0.10 -			2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	2 非	ド再4	上性資源	原の使用量削減		3.5	0.60		-	3.5
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.20		2.1	材料使	用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.20		2.2	既存建	撃躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10					_	3.0	0.20	_	_	
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 2.7 元条教質含有材料の使用 3.0 0.30 3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.0 0.30 3.5 0.70 - 1 1 液/剤 3.5 0.70 - 2 2.2 発泡剤(断熱材等) 3.0 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 - 3.3 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50 0.50	_				リノリウム・屋内床 防滑シート・屋外床 塩ビシート・屋内床				_	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 8体+軽鉄+仕上材及び、躯体+GL工法+仕上材 4.0 0.20 -	_				ファファニ・注:からはフェー・注:が、一直にフェー・注:か				-	
3.5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	_				飯人,权处,从人共死了。飯人,公工法,从人共			-	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.0 0.30					躯体十軽鉄十位上外及ひ、躯体+GL上法+位上外				-	
3.2 フロン・ハロンの回避	3 <u>済</u>					3.3	0.20	-	-	3.3
3.2 フロン・ハロンの回避		3.1	有害物	1質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
消火剤						3.5	0.70	1 1-1	-	
2 発泡剤(断熱材等) 現場発泡ウレタンはノンフロンタイプ 4.0 0.50 - - - - - - - - - - - - 3.0 0.50 - - 3.0 0.50 - - 3.2 - - 3.0 - - 3.2 5.0 0.33 - - 5.0 0.33 - - 5.0 0.33 - - 5.0 0.25 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - 2.5 0.33 - - - - - - - - - - - - - - - - - - <td< td=""><td></td><td></td><td>1</td><td>消火剤</td><td></td><td>-</td><td>-</td><td></td><td>-</td><td></td></td<>			1	消火剤		-	-		-	
1 地球温暖化への配慮					現場発泡ウレタンはノンフロンタイプ	4.0	0.50	_	-	
1 地球温暖化への配慮									_	
1 地球温暖化への配慮 5.0 0.33 5.0 2 地域環境への配慮 2.5 0.33 2.5 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25	I D2 🖷	Ny Lile A		,					_	2.2
2 地域環境への配慮 2.5 0.33 2.5 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25						_				
2.1 大気汚染防止 3.0 0.25						_			-	
2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50	2 地					_		orto Issaico les	-	2.5
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25								-	-	
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25		2.2	温熱環	環境悪化の改善		2.0	0.50	- 1	-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25		2.3	地域イ	ンフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25			1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制 評価ポイント:4 5.0 0.25									-	
4 廃棄物処理負荷抑制					評価ポイント:4				_	
3 周辺環境への配慮 2.1 0.33 - 2.1 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40										
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40	2 ₽	E :11 15								2.4
1 騒音 3.0 0.33 - <td< td=""><td>3 /6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.1</td></td<>	3 /6									2.1
2 振動 3.0 0.33 - <td< td=""><td></td><td>3.1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-</td><td></td></td<>		3.1							-	
3 悪臭 3.0 0.33									-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - </td <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>振動</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>-</td> <td></td>			2	振動		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1.6 0.40 - </td <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>悪臭</td> <td></td> <td>3.0</td> <td>0.33</td> <td>- [</td> <td>-</td> <td></td>			3	悪臭		3.0	0.33	- [-	
1 風害の抑制 1.0 0.70		3.2				1.6	0.40	-	-	
2 砂塵の抑制 3.0									_	
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 1.6 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 1.0 0.70 - -							31, 0			
3.3 光害の抑制 1.6 0.20 -							0.00			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 1.0 0.70 - 1 - 1			3			_		-	-	
			11.) 川田(1.6	0.20	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策 3.0 0.30	_	3.3	光害σ							
	_	3.3					0.70	-	-	

印刷:モノクロ 設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

■キーボード操作: 改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

<u> </u>	キーホート操作: 改行の除は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。
	計画上の配慮事項 ※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	地域のランドマークとなり、地域に親しまれる環境配慮型の建築を計画。
Q1 室内環境	店舗及び住宅部分のサッシには、LOW-E複層ガラスを使用し、熱負荷を抑え、またシックハウス対策として、F☆☆☆全材を採用し、室内環境に配慮している。
Q2 サ ー ビス性能	建物全体としてバリアフリーな建物とし、また将来の設備更新に配慮した計画としている。
Q3 室外環境 (敷地内)	主要道路と建物の間に緑化を行うことで室外環境の向上を目指し、また隣地境界との間に目隠しを設置することで、近隣家屋とのプライベートに配慮している。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化、及び太陽光パネルの設置を行い、省エネ に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	住戸台所のキッチン水栓及び浴室のシャワーは節湯型とし、水資源に配慮している。
LR3 敷地外環境	建物を敷地北側の道路に寄せて配置することで、南下に広がる住宅街との離隔距離をとるように配慮した。
その他	別棟駐輪場:延床面積 29.37㎡、建築面積 20.97㎡

建物名称 熊本銀行 健軍ビル

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果 総合評価点								
重	点事項			評価点	重点事項	57 (TE) ±		
	重点項目(配成	敢項 目)	スコア	重み 係数	元里元	重み係数	評価配点	
①	温室効果ガス排出量削減の推進							
	Q1-2.1.2	外皮性能	4.3	0.05				
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05				
	Q1-3.2.1	昼光制御	3.6	0.05				
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.14	104.6	0.40	41.84	
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20				
	LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30				
	LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10				
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10				
2	安全安心で暮	らしやすい社会の実現				0.20		
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25				
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25	66.2		13.24	
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			13.24	
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.5	0.20				
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15				
3	県の地域資源	の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ▪景観への配慮	3.0	0.20				
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30	75	0.20	15.00	
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20				
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30				
4	循環型社会の	実現						
	Q2-2.2	部品•部材の耐用年数	2.8	0.30				
	Q2-3	対応性•更新性	3.4	0.30	QΛ	0.20	16.80	
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	84	0.20	10.00	
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15				
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	5.0	0.15				

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数